

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【社会（公民）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。	P75～123
	また、見開きで学習課題が設定され、「みんなでチャレンジ」などで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。	P78～79
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、主権者として社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。	P88～89
	また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、章末で「マトリックス」や「ツールミン図式」等を活用し、自分の考えをまとめるような工夫が見られる。	P39 P71～71
	(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料に番号を付けて、本文と関連付けるなどの工夫が見られる。	P90～91
	また、他分野や他教科との関連を示す「関連マーク」が表示されたり、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。	P117、P194 P46
17 教育出版	(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、写真資料が多く用いられ実生活と関連付け易く、「みんなでチャレンジ」のコーナーで、主体的に考え、自己との関わりを深められる工夫が見られる。	P14～15
	また、社会的事象の因果関係を説明するために、「トライ」や「考える」、「読み取る」などを設け、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫が見られる。	P131 P133
	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、学習のテーマをつかむ導入ページ、本時ページとそれに関連した特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっている。	P81～126
	また、見開きで学習課題が設定され「公民の窓」などで追究し、最後に、自ら考えたり他と意見交換したりする「確認！」表現！」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。	P84～85
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、冒頭で「公民で意識したい具体的な『学び方』」を設けたり、技能や表現力を身に付ける「公民の技」を設けたりするなどの工夫が見られる。	巻頭Ⅲ P87
	また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、身近な生活と結び付けて考える「読んで深く考えよう」や「言葉で伝え合おう」を設けるなどの工夫が見られる。	P76～77 P68～69
	(3) すべての生徒が学習しやすくするために、各章の扉のページに、様々な活動場面の写真を掲載し、身近な生活と関わらせて、学習内容が想起できるような工夫が見られる。	P127
	また、「公民で学ぶ主な内容と学習の見通し」で学習内容の系統性を意識したり、インターネットを使って資料を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。	巻頭Ⅲ P11
	(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、「LOOK」というコーナーを設け、学びを自分のものとして捉え、多面的・多角的に課題解決を図らせるという工夫が見られる。	P128～129 P134
	また、社会的事象の因果関係を説明するために、学習課題と対応した「確認」と「表現」を設けて、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫が見られる。	P176～177

46 帝国書院	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、章・節・見開きごとに問いと振り返りの学習を設け、それを積み重ねることで章の問いを自分なりに追究できるようになっている。	P65～106
	また、見開きで学習課題が設定され、「未来に向けて」などで追究し、最後に、読解力や表現力等の育成を促す「確認しよう」「説明しよう」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。	P67～68
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、公民の学習に必要な基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。	P123～124
	また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「Yes No」コーナーや「アクティブ公民」コーナーで、様々なテーマを考えることができる工夫が見られる。	P160 P111～112
	(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料の読むポイントを示した「資料活用」が設けられているなどの工夫が見られる。	P140
116 日本文教出版	また、図版や記号等が明瞭で、読み取りやすい配慮がなされていたり、動画などのコンテンツ資料を活用した学習が行えたりするなどの工夫が見られる。	P168 P67
	(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、「アクティブ公民」のコーナーで、主体的に課題解決を図り、「学習の前に」のコーナーで、単元全体の見通しをもち、考察できるような工夫が見られる。	P101～102
	また、社会的事象の因果関係を説明するために、「確認しよう」「説明しよう」で、資料を提示し、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫が見られる。	P27～28 P29～30
	(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、社会の課題を考える学習ページとなっている。	P78～121
	また、見開きで学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティ」などで追究し、学習内容の理解を確かめる「確認」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。	P78～79
116 日本文教出版	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習に必要な技能を身に付ける「情報スキルアップ」コーナーや、学習への理解を深める「公民+α」コーナーが設けられるなどの工夫が見られる。	P86～87 P85
	また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、課題について考える手助けとなる様々な「シンキングツール」を紹介するなどの工夫が見られる。	P175
	(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誌面の一部に点字加工を施すページを設けるなどの工夫が見られる。	P50
	また、巻頭の「これからの社会をどんな社会にしたい？」でSDG sを意識したり、デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。	巻頭2,3 P26
	(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、「学習の始めに」のコーナーで、実社会の事例を取り上げて学ぶ意義をとらえさせ、学習活動へ意欲と見通しを持ち、主体的な活動を促す工夫が見られる。	P6～7
116 日本文教出版	また、社会的事象の因果関係を説明するために、課題解決につながるための「見方・考え方」を例示し、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫が見られる。	P8～9

225 自由社	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、学習のまとめと発展ページという流れになっている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、「ミニ知識」コーナーなどで追究し、最後に、毎時間の学習内容の振り返りができる「ここがポイント」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、「学習のまとめと発展」のページを設けたり、関連する内容を示したコラム「もっと知りたい」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、自分の考えをまとめたり、討論したりする「課題の探求ページ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、イラストとともに章のタイトルや導入となるコメントを掲載したり、全ての単元を連番で表示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、本文の近くには、本文の内容を補う詳しい解説文が掲載されたり、重要語句はゴシックの太字で示し、巻末のさくいんに掲載したりするような工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、写真や実物の資料が多く用いられ、「もっと知りたい」を設定し、主体的に自己との関わりを深められる工夫が見られる。</p> <p>また、社会的事象の因果関係を説明するために、「ミニ知識」や「ここがポイント」のコーナーで、課題解決のための資料を提示し社会的事象の原因と結果の関係性を把握できる工夫が見られる。</p>	<p>P43～64</p> <p>P86～87</p> <p>P120</p> <p>P168～169</p> <p>P214～223</p> <p>P165</p> <p>P102</p> <p>P253～258</p> <p>P14～15</p> <p>P13</p>
227 育鵬社	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ（〇〇の入り口）、本文ページ、まとめのページ（〇〇のこれから）となっている。</p> <p>また、見開きで学習課題が設定され、「学習を深めよう」コーナーなどで追究し、最後に、レポートや論述でまとめる「学習のまとめ」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習内容につながるキャラクターの吹き出しや、必要な技能を身に付ける「スキルアップ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「やってみよう」や「社会科のまとめ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、見開きごとの資料に通し番号を付け本文と関連付けるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、地理や歴史で学習した関連内容を紹介したり、各章の初めに、小学校で学習した内容を振り返ったりして、学びの系統性を意識できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 社会的事象を身近なものと考えするために、資料として新聞記事や身近な写真が多く用いられ、実際の事例から公民的事象をとらえることができなどの工夫がみられる。</p> <p>また、社会的事象の因果関係を説明するために、「学習を深めよう」のコーナーを随所に設け、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫が見られる。</p>	<p>P75～114</p> <p>P78～79</p> <p>P156</p> <p>P86～87</p> <p>P145</p> <p>P203～208</p> <p>P170～171</p> <p>P115</p> <p>P38～39</p> <p>P58～59</p>